

令和7年度卒業式・修了式 式辞

本日、晴れて学位を授与された、学士 836 名、専攻科 7 名、修士 268 名、教職修士 35 名、博士 31 名の皆さん、ご卒業、ご修了、誠におめでとうございます。これまでの皆さんの、長きにわたる学修・研究の積み重ねが実を結び、晴れて今日の門出を迎えられましたこと、山梨大学の教員、職員、学生を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

併せて、本日まで、励まし支えられてこられたご家族、並びに関係者の皆様にも、祝意と感謝の気持ちをお伝えいたします。

また本日はご多忙の中、山梨県知事 長崎幸太郎様 代理 山梨県副知事 井上 弘之様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、深く感謝申し上げます。

多くの皆さんが山梨大学の門をくぐったのは、「アフターコロナ」と呼ばれ、新しい日常が始まりだした時期でありました。まだ社会全体に不安が残るなか、マスク越しの対話や、オンライン授業から対面授業への移行など、多くの変化に向き合いながら学びを続けられてこられました。

私はほぼ毎日、大学会館食堂で昼食をとり、学生の皆さんの表情や雰囲気に触れてきました。楽しい話らい、課題と向き合う姿、議論を深める場面などを目にし、皆さんが少しずつ落ち着きを取り戻していく、そして、表情が明るくなっていく様子に、安心と喜びを感じていました。

その後も、気候の変動、国際情勢の緊張、生成 AI の急速な普及、物価の上昇など、社会はこれまで以上に大きく揺れ動いまいりました。そうした時代の渦中にありながら、皆さんは専門分野の学修や研究に誠実に取り組み、自らの未来を切り開いてこられました。その努力に心より敬意を表します。

私は、皆さんには「無限の可能性」を大きく開花させてほしい、と願っています。山梨大学での学びを通じ、皆さんはどのような状況においても、目標を掲げ、力を積み重ねる力を身につけてこられました。物事を深く理解しようとする姿勢、真実を追究する喜び、新たな挑戦に踏み出す勇氣。それらは皆さんの「無限の可能性」を引き出す力強い土台となっています。

どうか、皆さん一人ひとりが、これからの新しい環境の中で、「無限の可能性」を存分に生かしてください。皆さんの学びは、必ず社会に還元され、多くの人々を幸せにし、地域を支える力となります。私は、今後本学が進めていく多様な取り組みに、皆さんが様々な視点や経験からの意見や助言を寄せてくださることを期待しております。そのことがきっと、山梨大学や山梨という地域の未来の大きな推進力となり、さらには日本社会、そして世界へと貢献の輪を広げる力にもなっています。

現在、本学は急速に変化する社会や 2040 年の人口減少問題、グローバル化を見据え、学びの在り方や地域との連携強化に向けた見直しを行っています。

まず、全学共通教育改革として、クォーター制を導入した上で、課題解決型の PBL 授業の強化など、主体的、対話的な学びの機会を増やす教育改革を進めています。

また、「地域と、未来を創る大学へ。」をキャッチフレーズとして掲げ、山梨県唯一の国立大学として地域の課題解決に主体的に関わることを目指しています。

2 年後の令和 10 年度には、学部相当の文理融合型の教育組織としてデータサイエンス、AI リテラシーを学び、PBL を主体とした地域課題解決型の学環「社会デザインサイエンス学環（仮称）」を創設する予定であります。またこれに先立って令和 9 年度には、大学としては我が国で初めて、産業界・金融界・マスコミ・自治体からの出向者と協働する常設の組織を、本学の敷地内に「やまなし地域活性化推進機構（仮称）」として設置し、産官学金連携による地域活性化を牽引する役割を担うこととなります。

私自身、山梨という、この地域を元気にしたい、活性化したいという想いで経済界や街づくりといった多くの場に参加し、学ばせていただいておりますが、そこには本学の学生がいきいきと活躍する姿があり、誇らしく、また心強く感じています。本学が新たな挑戦を続けていく中で、このように積極的に地域と関わられている学生の皆さんの存在は、まさに大学の力そのものであり何事にも代えがたい貴重な財産であります。

山梨大学は、本日、卒業・修了を迎えられた皆さんが、「もう一度、山梨大学と関わってみたい」と思ってくださいような、魅力ある大学であり続けたいと考えています。そしてこれからも、皆さんと山梨大学は、お互い切磋琢磨しながら、ともに前へ進んでいく存在でありたいと願っております。

最後に、皆さんに心に留めていただきたい言葉があります。

本学の卒業生であり、ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生から教えていただいた「恕（じょ）」という言葉です。女へんに口、下に心と書きます。「恕」とは、常に相手の身になって、物事を考えるやさしさと、思いやりを意味する言葉であります。そして、「恕の心」とは、相手を受け入れる心、相手を許す心、相手を慮る心、そして相手を慈しむ心のことです。

私は、山梨大学で学ぶ学生の皆さん、そして大学を支える教員・職員の皆さん全員が、「恕（じょ）」の心を常に大切にしたいと願っています。大学は、学生・職員・教員がそれぞれ異なる立場と役割を担いながら、互いを尊重し、支え合うことで成り立っています。

私が、学内外の方々にその重要性をお伝えしている「教職学協働」とは、教員・職員・学生が互いに共感をもち、歩調を合わせ、同じ方向へ進んでいくことを目指す理念であります。それぞれが大学の一員として相手を理解し、思いやる姿勢があつてこそ、真の協働が生まれ、大学全体の力が最大限に発揮されます。

皆さんも、これから職場や、研究室で意見がぶつかったときや、予期しない出来事に直面したとき、あるいは誰かの失敗に出会ったとき、「恕の心」をもって接することが大切な場面に出会うでしょう。そのときこそ、相手に寄り添い、違いを受け入れ、思いやりをもって関わることで、信頼を育てるとともに、皆さん自身の生きざまを磨く大切な糧となるのです。ぜひお伝えした「恕の心」を胸に置き続けてください。

本日卒業される皆さんの中には、9か国から来られた84名の外国人学生がいらっしゃいます。慣れない言語や文化、生活環境の中で学び続けることは、大きな努力と覚悟を必要としたことと思います。皆さんが積み重ねてきた挑戦と忍耐に、心から敬意を表します。ここで皆さんを称え、英語でスピーチをいたします。

On behalf of the faculty and staff of the University of Yamanashi, I would like to extend my heartfelt congratulations on your graduation and the conferral of degrees.

I also wish to express my deep appreciation to your families and friends who have supported you throughout this remarkable journey.

During your time here, many of you lived and studied in an environment that was new in language, culture, and daily life. Such a choice requires courage, determination, and an unwavering commitment to your goals.

Your student life unfolded during challenging times. You faced the lingering effects of the COVID19 pandemic, navigated unfamiliar academic expectations, and worked through cultural and linguistic challenges.

Yet you persevered. You adapted, you continued to learn, and you grew stronger through each experience. Your presence here today is a testament to that strength.

As you now move forward into the next chapter of your lives, I encourage you to carry with you the knowledge, perspectives, and values you have gained here. May you become bridges—connecting communities, connecting cultures, and connecting people across regions and across the world.

I am confident that the experiences you have gained here will enable you to make meaningful contributions to your communities and to our shared global future.

Once again, congratulations on your graduation.

I wish each of you continued success and fulfillment in all that you pursue.

皆さんが、山梨大学で流した汗と涙、仲間と語り合った時間、挑戦を重ねて得た自信。そのすべてが、皆さんを心豊かな未来へと、力強く押し出す原動力となるはずです。

山梨大学は、皆さんお一人おひとりのこれからの輝かしい歩みに、最大の期待とエールをお贈りします。

この晴れの日を迎えることができたのは、卒業生・修了生の皆さん一人ひとりの努力はもちろんのこと、これまで変わらぬ愛情を注ぎ、支えてこられたご家族の皆様、及び関係者の皆様のお力があってのことです。引き続き、山梨大学と共に、これから新たな一步を踏み出す卒業生たちを、温かく見守っていただければ幸いです。

本学は今後も全学一丸となって、高度な教育・研究を展開していくとともに、地域の活性化と未来づくりに、これまで以上に力を注いでまいります。どうか、これからも本学の歩みに変わらぬご理解とご支援を賜り、ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

結びに、本日、ご卒業・ご修了される皆さんが、大きな変革の時を迎えた現代において、自分の人生を自分で切り開くという志を持ち、周りの人の気持ちを慮りながら、ここ山梨大学から世界に羽ばたき、大いにご活躍されることを心底よりご祈念申し上げ、私の式辞といたします。

令和8年3月19日

国立大学法人 山梨大学 学長

中 村 和 彦

本日は、誠におめでとうございます。